

令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量 (10月15日現在 山口県)

【調査結果の概要】

1 作付面積

令和2年産水稻の作付面積（子実用）は1万8,900haで、前年産に比べ400ha（2%）減少しました。

また、水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は1万7,800haで、前年産に比べ600ha（3%）減少しました。

2 作柄概況

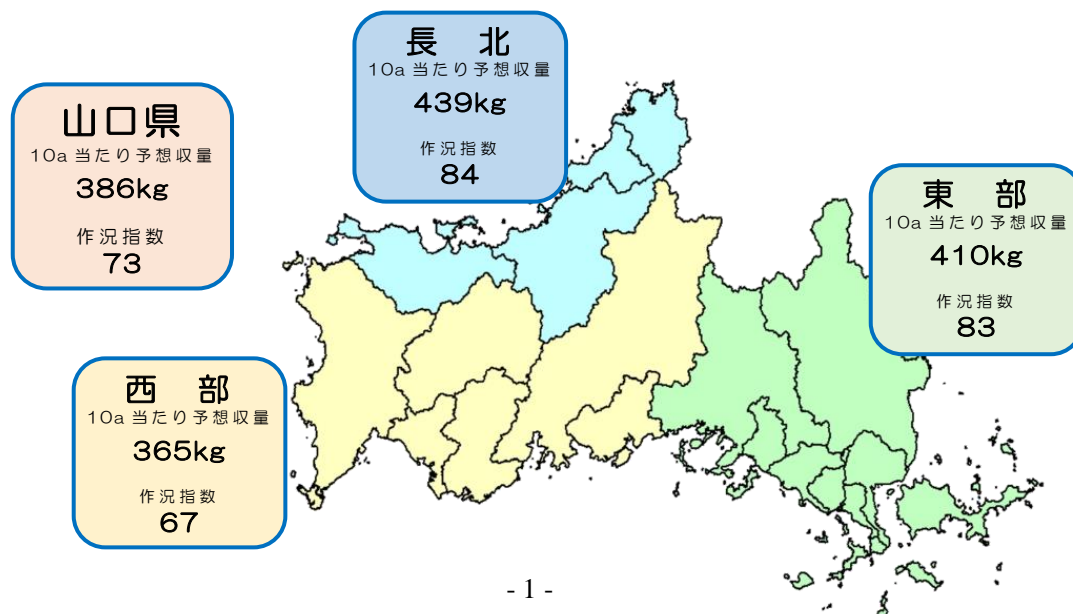
穂数は、5月から6月にかけて、おおむね高温・多照で経過したものの、7月の低温・日照不足により分けつが抑制され「やや少ない」となりました。1穂当たりもみ数は、7月が低温・日照不足で経過したものの、穂数がやや少ないことによる補償作用により「やや多い」となりました。この結果、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「平年並み」となりました。

登熟は、トビイロウンカによる被害の発生と拡大、これに伴う早刈りや、9月上旬の台風による瀬戸内海沿岸部での潮風害等により、粒の肥大・充実が抑制され「不良」と見込まれます。

以上のことから、山口県の10a当たり予想収量は386kgとなり、前年産に比べ88kgの減少が見込まれます。作柄表示地帯別では、東部が410kg（前年産に比べ46kg減少）、西部が365kg（同113kg減少）、長北が439kg（同41kg減少）と見込まれます。

また、農家等が使用しているふるい目幅ベース（山口県1.85mm）の作況指数は73（不良）と見込まれます。作柄表示地帯別では、東部が83（不良）、西部が67（不良）、長北が84（不良）と見込まれます。

図1 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）



3 予想収穫量

以上の結果、予想収穫量（子実用）は7万3,000tとなり、前年産に比べ1万8,500t（20%）の減少が見込まれます。

また、主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた主食用の予想収穫量は6万8,700tとなり、前年産に比べ1万8,500t（21%）の減少が見込まれます。

表1 令和2年産水稻玄米のふるい目幅別重量分布状況（10月15日現在）

単位：%

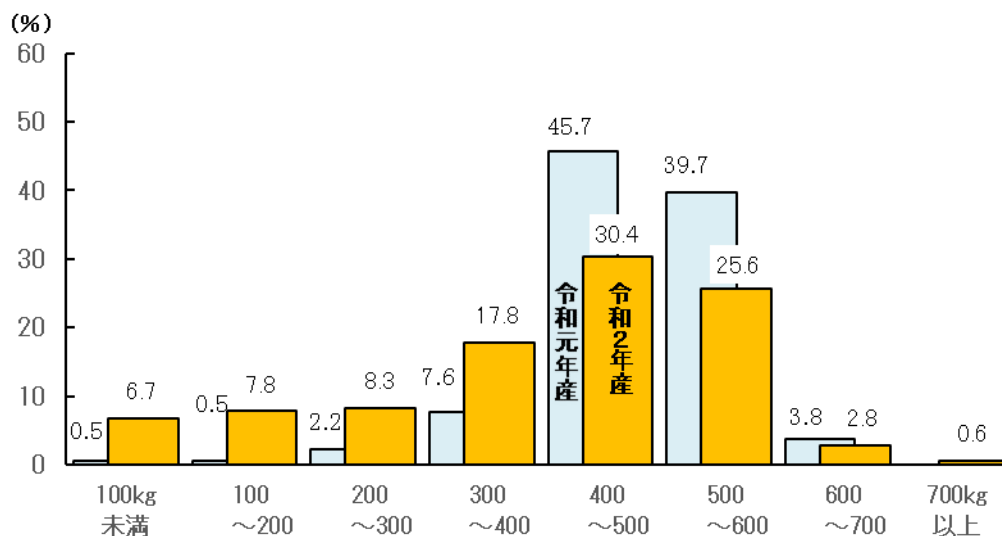
県・作柄 表示地帯	区分	計	ふるい目幅別重量分布状況					
			1.70mm以上 1.75mm未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00mm 以上
山口	重量割合	100.0	1.9	3.4	3.9	7.1	24.6	59.1
	平均値	100.0	0.9	1.4	2.3	2.8	15.1	77.5
	対平均差(%)	0.0	1.0	2.0	1.6	4.3	9.5	△18.4
東部	重量割合	100.0	1.3	2.4	3.4	4.6	21.4	66.9
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.3	2.7	14.1	78.5
	対平均差(%)	0.0	0.4	0.9	1.1	1.9	7.3	△11.6
西部	重量割合	100.0	2.3	4.1	4.2	8.8	26.9	53.7
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.5	3.0	15.9	76.2
	対平均差(%)	0.0	1.4	2.6	1.7	5.8	11.0	△22.5
長北	重量割合	100.0	1.3	2.5	3.5	4.5	21.0	67.2
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.8	2.3	13.1	80.9
	対平均差(%)	0.0	0.6	1.3	1.7	2.2	7.9	△13.7

表2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

単位：%

区分	計	100kg 未満	100 ～200	200 ～300	300 ～400	400 ～500	500 ～600	600 ～700	700kg 以上
筆数割合	100.0	6.7	7.8	8.3	17.8	30.4	25.6	2.8	0.6
前年値	100.0	0.5	0.5	2.2	7.6	45.7	39.7	3.8	—
対前年差(%)	0.0	6.2	7.3	6.1	10.2	△15.3	△14.1	△1.0	0.6

図2 令和2年産水稻の作況標本筆の10a当たり玄米重の分布状況（10月15日現在）

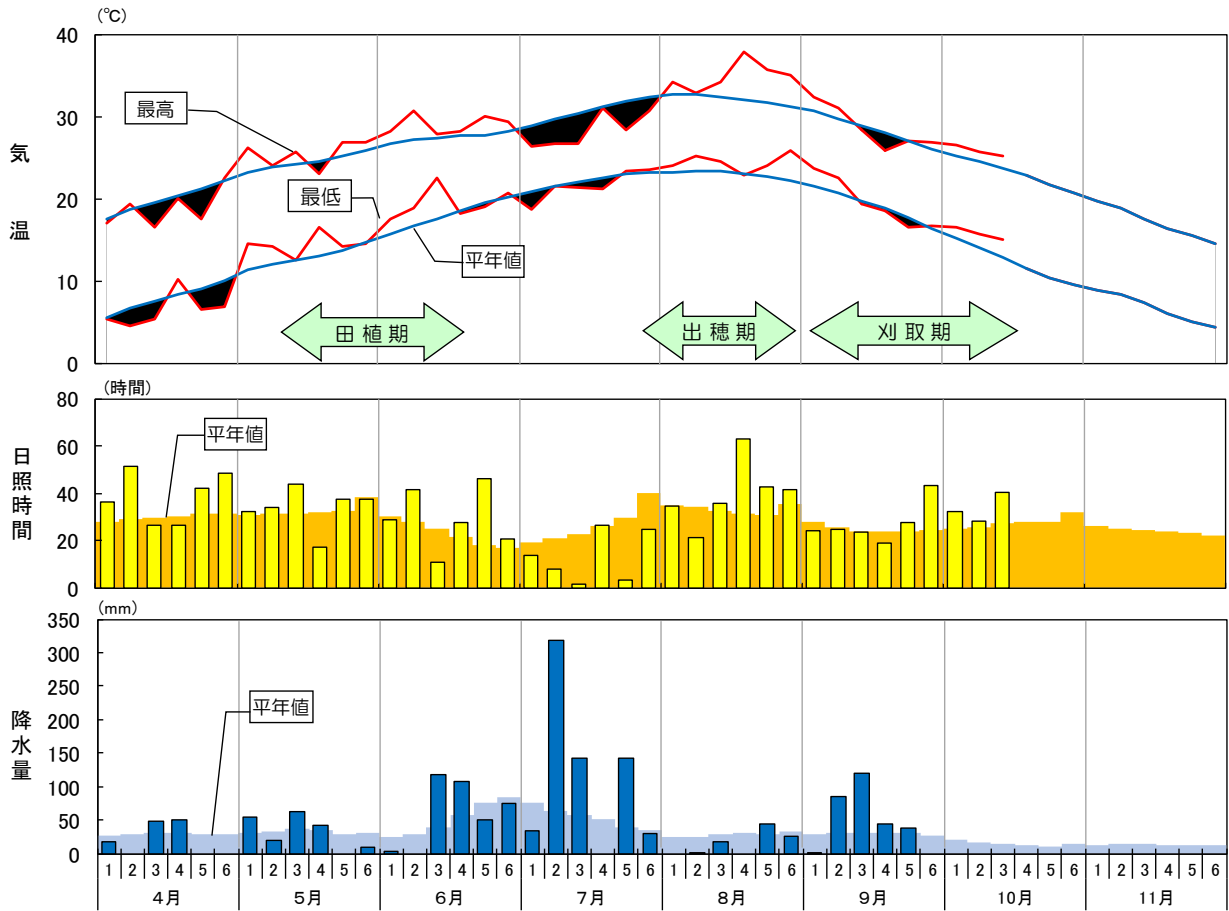


◎ 累年統計表

区分	作付面積 (子実用)	10a当たり 収 量	収穫量 (子実用)	作況指数	参考	
					主 食 用 作付面積	収 穫 量 (主食用)
	ha	kg	t		ha	t
山 口 県 平成24年産	22,900	507	116,100	101	22,500	114,100
25	22,900	487	111,500	97	22,800	111,000
26	22,300	483	107,700	96	21,500	103,800
27	21,600	491	106,100	97	20,500	100,700
28	21,000	512	107,500	102	19,800	101,400
29	20,300	521	105,800	103	19,300	100,600
30	19,800	522	103,400	104	18,900	98,700
令和元年産	19,300	474	91,500	94	18,400	87,200
2(見込み)	18,900	386	73,000	73	17,800	68,700
東 部 平成24年産	4,670	481	22,500	100
25	4,610	470	21,700	98
26	4,450	452	20,100	94
27	4,340	473	20,500	98
28	4,180	490	20,500	102
29	4,040	494	20,000	103
30	3,880	500	19,400	104
令和元年産	3,750	456	17,100	94
2(見込み)	3,640	410	14,900	83
西 部 平成24年産	14,100	515	72,600	101
25	14,200	490	69,600	96
26	13,900	496	68,900	97
27	13,500	497	67,100	97
28	13,200	521	68,800	102
29	12,900	530	68,400	104
30	12,600	531	66,900	104
令和元年産	12,200	478	58,300	93
2(見込み)	12,000	365	43,800	67
長 北 平成24年産	4,100	513	21,000	102
25	4,130	494	20,400	98
26	3,940	474	18,700	94
27	3,710	492	18,300	98
28	3,560	506	18,000	101
29	3,440	518	17,800	103
30	3,390	515	17,500	103
令和元年産	3,290	480	15,800	95
2(見込み)	3,210	439	14,100	84

◎ 半旬別気象図

山口市の気象図



気象庁「アメダス」を基に作成

本資料は、「令和2年産水稲の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在 中国地域・四国地域）」の補足資料です。統計表や調査の概要等は、同資料をご覧ください。

お問合せ先

中国四国農政局 山口県拠点 統計チーム（生産流通消費）
 電話：083-922-5473 FAX：083-932-7581